

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		い〜まCrea大治Ⅱ		公表日		令和7年 3月 21日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・基準より広いスペースを確保している		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・加配加算を算定しているため、基準以上に職員を配置している		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・イラストを使用し、視覚的にも理解を促す配慮をしている ・玄関にはスロープがあり、室内の段差も少ない		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・営業後に必ず清掃行っており、清潔に保たれている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・痾痛時のクールダウンや個別指導の際に、個室やパーテーションを使用している		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・起きたことの原因を分析し、次に繋げるようにしている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・事業所評価アンケートでいただいた意見を参考に改善を進めている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・その都度スタッフから意見はもらっている ・パート面談や月1回のケースカンファレンスの機会も活用して意見の聞き取りを行っている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・今後実施するかは検討していく	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・月1回ケースカンファレンスの時間を設けている ・社内研修で言語聴覚士を講師に迎えての勉強会を行っている ・地域の事業所との交流を兼ねた外部研修に参加している	・外部研修については、要望があれば勤務調整を行っていく	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・社内で検討を重ね作成している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・日々の様子やモニタリング面談を通して、課題点を分析、計画を作成している		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・日々のミーティングや月1回のケースカンファレンスで情報共有を行っている ・スタッフへの聞き取りや日々の記録をもとに計画を作成している		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・計画の見直し後、モニタリング面談で保護者とした話とともに計画の変更点について共有をしている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・手書きの記録やデータ上に記録を残し、モニタリング時期に振り返りを行っている		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・社内で検討を重ねた内容をもとに個々に合わせた支援内容を設定している		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・毎日のミーティングで日々の活動の内容について話し合っている		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・発達状況に応じてレベルアップするなどカリキュラムの見直しを行っている ・ねらいは同じでも内容に変化を持たせて子どもが飽きないよう工夫している		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・それぞれのねらいに合わせ、個別と集団の取り組みを組み合わせている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・作成した日案をもとにミーティングを行っている	・長期休暇中は時間の確保が難しく、できた場合でも簡易的なミーティングになってしまう
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			・退勤時間の都合上、全員参加でその日のうちに実施することができていないが、翌日ミーティングの際に振り返りを行っている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・日々の指導結果は記録に残し、次の指導に繋げている ・何か変化が見られた際には特記事項として記録に残し、モニタリング時期に振り返りを行っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・子どもの状況に合わせ、見直し、変更を行うようにしている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		・複数組み合わせ合わせて支援を行っている	・地域交流の機会が少なく、おでかけする程度に留まっている
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・職員側の意見を押し付けるのではなく、子どもの気持ちも聞くことも大切にしている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達支援管理責任者が参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			・実績としてはないが、連携をとる体制は整えている
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・保護者を通じて下校時間の確認を行っている ・必要に応じて学校に直接の確認もしている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・新規面談の際に保護者から当時の様子について聞き取りを行っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			・該当者はないが、必要に応じて情報提供を行っている
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・スーパーバイズや助言は受けられてはいるが、過去の療育の結果は保護者を通じて共有してもらっている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			・要望があれば実施を検討していく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・積極的に参加し、運営にも携わっている	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・何か変化があればその都度お伝えするようにしている		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			・要望があれば実施を検討していく	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・利用契約時に紙面に沿って説明を行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・モニタリング面談にて確認をするようにしている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・直接の説明が難しい場合は、電話で説明を行っている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・保護者に面談以外でも、相談できる旨を伝えており、気軽に相談できるよう努めている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		・要望があれば実施を検討していく
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○		・苦情があった場合は迅速に対応し、情報の共有、再発防止に努めている
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		○		・HP上のブログやインスタグラムにてい〜まのこを発信している
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○		・個人情報の取り扱いに関する誓約書を毎年用意し、記入している
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○		・日頃から分かりやすい説明を心掛けていく
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・要望があれば実施を検討していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○		・ご家庭に細かい内容までは伝えきれていないが、マニュアルを策定し、研修・訓練を実施している
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○		・作成したBCPをもとに研修・訓練を実施している
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。		○		・保護者からプリントをいただいているので確認してミーティングの時に他のスタッフに共有をしている
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		・契約時にアレルギーについて必ず確認を行っている
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○		・計画をもとに研修・訓練を実施した上で支援を行っている
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		・ご家庭に細かい内容までは伝えきれていないため、今後検討していく必要がある
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○		・事例があった際には事業所全体を共有している
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○		・半年に1回行っている
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○		・保護者の同意のもとで、適正に行うよう努めている	